

奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画 平成27年度事業評価総括表

No.	事業名	課名	開始年度	方向性	総合評価	協働に対する総合評価の理由など
1	奈良市ボランティアセンターの運営	協働推進課	H18	継続	B	お互いの特性を活かし、相互に自立した関係を保ちながら事業を行えたため。
2	もてなしのまちづくりの推進	協働推進課	H19	継続		未開催のため、評価できず。
3	NPO法人条例指定制度検討委員会及び審査委員会	協働推進課	H24	継続	C	奈良市NPO法人条例指定制度審査委員会を開催し、委員に意見を言いただき、厳正な審査をしていただき4団体条例指定することができた。
4	市民参画及び協働によるまちづくり審議会	協働推進課	H21	継続	B	実施計画や条例改正案、第2次推進計画について、委員から多くの意見を聴くことができたため。
5	男女共同参画活動団体協働事業	男女共同参画課	H17	継続	B	団体とは対等の関係を維持しつつ、団体個々の特性を把握し、自主性を尊重することで市民ニーズにあった講座を開催することができた。
6	地域人権教育支援事業	人権政策課	S48	継続	B	協働開催することで相互に補完し連携することができた。
7	中学校の弁当選択制	保健給食課	H20	継続	B	配膳ボランティアとともに、弁当選択制の事業が達成できた。
8	教職員教科等研修事業	教育支援課	-	継続	A	教職員の資質能力向上という目的に沿った研修講座を実施することができた。
9	教育センター学習事業	教育支援課	H23	継続	A	プログラムの計画から実施、評価にいたるまで団体と連携し、充実した中身のプログラムにすることができた。
10	学校規模適正化検討協議会との協議	教育政策課	H20	継続	B	学校規模適正化については、市の考えと保護者や地域住民の思いが違う場合が見られるが、協議を重ね、理解を得て統合再編を進めているため。
11	地域で決める学校予算事業(学校支援地域本部事業)	地域教育課	H20	継続	A	事業を地域に委託し、地域が主体的に学校園の支援を行っている。
12	放課後子ども教室推進事業	地域教育課	H19	継続	A	教室運営のための協力者はコーディネーターを含め、2,522名にのぼる。
13	奈良市黒髪山キャンプフィールド管理運営	生涯学習課	H18	継続	C	目的を共有し、より利用される施設になるよう管理運営並びに事業の実施に取り組んだものの、利用者の増加につながらなかった。
14	生涯学習センター・各公民館における主催事業の協働	生涯学習課	H13	継続	B	「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という姿勢・意識、協働関係を解消する条件等に課題が残ると考えるため。
15	公民館運営審議会	生涯学習課	S26	継続	B	委員の方々の経験や知識を生かした審議を行い、今後の公民館事業の発展が期待できる。しかし、審議会という性質上、事務局と委員の適当な関係性を評価することは困難である。
16	おはなし会	図書館政策課	H20	継続	B	おはなし会との協働は実施できたが、目標値の達成は難しい。
17	市民考古サポーター活動事業	埋蔵文化財調査センター	H21	継続	B	事業内容・目的を相互に理解し、円滑に進めることができた。
18	奈良市文化振興計画	文化振興課	H19	継続	A	各委員の知識や経験に基づき意見を多数いただき、その意見を尊重するとともに、行政として最適な評価システムの検討が進んだ。
19	ならまちわらべうたフェスタ	文化振興課	H5	継続	A	各団体がこれまでの経験を活かし、イベント成功に向け一丸となって取り組むことができた。また、前年度を上回る数の団体と協働し、実行委員会を運営することができた。
20	奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)の運営	文化振興課	H20	継続	A	情報共有を密にし、互いを補完しながら業務に臨み、効果的な施設運営に繋がった。
21	奈良市北部会館市民文化ホールの運営	文化振興課	H20	継続	A	情報共有を密にし、互いを補完しながら業務に臨み、効果的な施設運営に繋がった。
22	奈良市都祁交流センターの運営	都祁行政センター地域振興課	H22	継続	B	互いの特性を最大限に発揮できるよう、それぞれの役割について協議をしながら、施設の管理運営を行った。
23	奈良市都祁生涯スポーツセンターコート等4施設の運営	スポーツ振興課	H22	継続	B	地域性を考慮して、施設の管理運営ができた。
24	奈良市青少年野外活動センターの運営	スポーツ振興課	H21	継続	B	目的を共有し、施設の管理運営及び事業の実施に取り組み、利用者が増加した。

No.	事業名	課名	開始年度	方向性	総合評価	協働に対する総合評価の理由など
25	奈良市都祁体育館の運営	都祁行政センター地域振興課	H22	継続	B	互いの特性を最大限に発揮できるよう、それぞれの役割について協議をしながら、施設の管理運営を行った。
26	地域福祉活動の支援事業	福祉政策課	H16	継続	B	協働のパートナーとして住民主体で取り組みを進めているが、目標の達成には至っていない。今後はより一層の協働関係を深められるよう努める。
27	奈良市月ヶ瀬福祉センターの運営	福祉政策課	H17	継続	B	福祉センターが、自主的活動(センターだよりを発行等)などで地域に溶け込み、市民ニーズに即したより良い施設運営を行うことができるため。
28	奈良市都祁福祉センターの運営	福祉政策課	H18	継続	B	福祉センターが、自主的活動(センターだよりを発行等)などで地域に溶け込み、市民ニーズに即したより良い施設運営を行うことができるため。
29	奈良市子ども会議	子ども政策課	H27	継続	A	子ども参加者から「子どもにやさしいまちづくり」について様々な意見をいただき、意見に対する奈良市としての回答をすることで、子どもにやさしいまちづくりの推進に寄与できたため。
30	子育て親子の集える場の提供	子ども育成課	H5	継続	A	交流会、スタッフ研修等を実施することにより、当該事業の主旨や目的の明確化と共有化が図られ、子育て支援の輪を広げることができたため。
31	子育て支援アドバイザー事業	子ども育成課	H18	継続	B	活動回数は大幅に増加したが、アドバイザーと地域との交流・連携化を図る取組については、まだ十分とは言えないため。
32	奈良市子ども・子育て会議	子ども政策課	H23	継続	A	市民公募の委員から意見をいただくことで、市民目線での検討に寄与できたため。
33	視覚障がい者向け広報等発行事業	障がい福祉課	S57	継続	B	互いの役割分担は十分行っている。この事業の根本である市広報誌作成の段階から協議等をする体制が出来れば、よりよい情報を視覚障がい者に提供出来ると考える。
34	奈良市子ども発達センターの運営	子育て相談課	H23	継続	A	療育相談室(直営)との定例会議(月1回)で事業報告がある。関係機関と連携し身近な場で地域支援を行い療育の充実を図るなど、子ども発達センターの公共性を理解して児童発達支援を実施できた。
35	認知症サポーター養成講座	長寿福祉課	H20	継続	B	協働相手は、事業の目的を整理し自立した活動をしているが、B評価項目においてできていない点があるため。
36	奈良市老人福祉センターの運営	長寿福祉課	H25	継続	A	センター開設当初より現在の協働相手が管理運営を行っており、その経験を生かした施設管理を行っていただいている。互いに足りない部分を補い合いながらセンター運営ができています。
37	奈良市立都祁診療所・月ヶ瀬診療所の運営	病院管理課	H22	継続	A	互いの立場を理解し、特性を活かしつつ、協力しながら事業を進めることができた。今後も協力関係を継続しながら事業を進めることがふさわしい。
38	奈良市立柳生診療所・田原診療所の運営	病院管理課	H18	継続	A	互いの立場を理解し、特性を活かしつつ、協力しながら事業を進めることができた。今後も協力関係を継続しながら事業を進めることがふさわしい。
39	20日ならウォーク	健康増進課	H18	継続	A	コースづくりから当日の運営、反省会に至るまで協議会主導で実施することができた。役割分担を行い、市が参加者申込受付を行ったことで、参加者数の把握ができ、さらに安全に事業を行うことができた。
40	食生活改善地区組織活動推進事業	健康増進課	H5	継続	B	食育講話活動が定着し、食推協の活動の場は広がっている。委託している地域伝達活動の認識に食い違いがあることがわかり、お互いの役割認識の共有が必要。
41	奈良市総合医療検査センターの運営	保健総務課	H23	継続	A	医療という専門性の高い事業であり、協働相手の長所を活かし、協働相手の自主性を尊重することができた。
42	奈良市食育つながるネット・奈良市食育推進会議	保健総務課	H20	継続	A	PDCAサイクルに沿い、それぞれの組織がもつ強みを生かしながら事業が推進できた。
43	医療相談事業「春うらら会～神経難病患者・家族の集い」	保健予防課	H16	完了	A	ボランティアグループが主体となり、神経筋難病患者・家族の意見を反映しながら支援を行うことができるようになった。
44	住まいの耐震化のすすめ	建築指導課	H22	継続		開催していないため、評価できず。
45	自主防災防犯組織活動交付金	危機管理課	H18	継続	B	各地区での自主防災防犯活動がより多く実施できれば、さらなる防災防犯意識の向上につながる。
46	独り暮らし高齢者世帯防火訪問	予防課	S46	縮小	B	住宅防火、高齢者の被害減少の目的の為、相互に理解、尊重し、活動することが出来た。
47	幼年消防クラブの育成及び活動	予防課	S62	縮小	B	各種行事等への参加を通じ、幼年期の防火意識の高揚は図れたと思われる。
48	応急手当普及啓発活動事業	救急課	H6	継続	B	受講者から講習内容は、高評価であり必要性の理解を得られた。
49	放置自転車ゼロ商店街計画	交通政策課	H23	継続	B	放置自転車を一掃するための取り組みをおこなったが、依然として自転車等の根絶はできていないため。

No.	事業名	課名	開始年度	方向性	総合評価	協働に対する総合評価の理由など
50	奈良市自転車駐車場の運営	交通政策課	H18	継続	A	指定管理者と連絡調整を行いながら、施設のより良い運営に努めた。
51	地域防犯活動推進事業	危機管理課	H21	継続	B	活動団体には、自主的な活動をお願いしているが、活動内容について協議する場を持つことができればより良い安全・安心なまちづくりを推進することができると考えられるため。
52	奈良市地球温暖化対策地域協議会	環境政策課	H21	継続	B	目的は共有できているが、役割分担について、行政側の割合が高い傾向が続いており、組織の自立が求められる。
53	ECOキッズ！ならの子ども	環境政策課・学校教育課	H25	継続	B	市民・市民団体講師との協働は十分に図れているものの、市立小学校との協働には改善の余地がある。
54	奈良市環境審議会	環境政策課	H6	継続	A	外部委員による施策の評価、意見の聴取などを実施できている。
55	奈良市環境基本計画推進会議	環境政策課	H24	継続	B	外部の評価コメントについて、次年度予算編成の参考とできる時期に関係課に報告することができている。また、評価方法の見直しについて議論を進めることができている。
56	奈良市環境教育推進会議	環境政策課	H24	継続	B	環境教育の推進という共通の目的をもって協議を行うことができた。
57	アダプトプログラム推進事業「さわやかクリーン奈良」	協働推進課	H20	継続	B	全国のアダプトプログラム導入自治体や日本のアダプトプログラム推進母体である食品容器環境美化協会と情報交換を行った。
58	佐保川清掃	まち美化推進課	-	継続	A	清掃当日以前から個々に清掃活動を実施されており、自主性が発揮されてきた。
59	人と動物がともに暮らせるまちづくり事業	生活衛生課	H15	継続	B	前年度に引き続き犬のフン持ち帰り啓発ポスター配布を行った。より抜本的な改善案の策定につなげられるよう、自治会からの意見・要望の集約に努めた。
60	環境フェスティバル、ならクリーンフェスタ	企画総務課	H6	継続	B	前年度に引き続き、協働イベントを開催し、それぞれの役割に基づき盛況に開催することができた。
61	ごみ減量キャラバン	企画総務課	H24	継続	B	前年度に引き続き、協働ごみ減量の啓発を行い、それぞれの役割に基づき市民へ啓発することができた。
62	陶磁器製食器類リユースリサイクル事業	企画総務課	H27	拡大	C	陶磁器の開催については概ね市民から好評であり、目標を達成することができたが、よりよく改善しようという意識がお互いに薄かった。
63	クリーンセンター建設計画策定事業	クリーンセンター建設準備課	H17	継続	C	共通の目的であるクリーンセンターの建設に向けて協議を進めたが、候補地周辺住民からの一定の理解を得ることができなかった。
64	まちかど景観発掘隊	景観課	H22	継続	B	地元団体と協働で開催することにより、今後の景観まちづくりの意識の向上へ繋がると考えた。
65	違反広告物を出さない街づくり推進団体	景観課	H16	継続	B	各推進団体の自立化は出来ているが、団体間のつながりが少し欠けている。
66	都市計画道路整備事業(三条線)	街路課	H8	継続	B	景観施設の設置など、良好な歩行者空間の整備による商業の活性化や沿道商店街の賑いを再生するとの目的達成に向けて取り組めた。
67	奈良市開発審査会	開発指導課	H14	継続	C	特に市民参画、協働の手法は取り入れられてはいない。
68	グリーンサポート制度	協働推進課	H20	継続	C	活動に参加することで、団体の様々な意見を聞くことができ、今後協働して事業を進めていく上での参考とすることができた。
69	なら燈花会開催事業	観光振興課	H11	継続	A	奈良の観光オフシーズンとなる夏季の集客対策事業として始まったが、ボランティアの協力無くしては成立しないイベントでもあり、関係団体と協働し、観光振興と地域振興に繋げることができた。
70	ガイド付きツアー	観光振興課	H22	継続	A	事業実施にあたり、互いのノウハウを出し合い、協働して進めることができた。
71	しあわせ回廊～なら瑠璃絵～開催事業	観光振興課	H21	継続	A	奈良の観光オフシーズンとなる冬季の集客対策事業として始まったが、ボランティアの協力無くしては成立しないイベントでもあり、関係団体と協働し、観光振興と地域振興に繋げることができた。
72	パサラ祭り開催事業	観光振興課	H10	継続	A	実行委員会が主体となり実施されているが、広域的な広報や駐車場等実行委員会で賄いきれないところを協力し、事業を実施することができた。
73	月ヶ瀬梅林周遊道路整備	道路建設課	H17	継続	D	奈良市と改修委員会の協議内容等について、地元関係者への周知が不十分である。
74	転害門前観光駐車場の運営	奈良町にぎわい課	H18	継続	B	管理運営については、指定管理者が主体的に行っており、市との良好な協働関係により実施できた。

No.	事業名	課名	開始年度	方向性	総合評価	協働に対する総合評価の理由など
75	奈良市ならまち格子の家の運営	奈良町にぎわい課	H18	継続	B	指定管理者の主体的な企画運営により、効果的な事業を行うことができた。
76	奈良町からくりおもちゃ館の運営	奈良町にぎわい課	H24	継続	B	活動団体と適宜調整を行い、奈良町の観光振興に大きく寄与することができた。
77	旧鍋屋交番きたまち案内所	奈良町にぎわい課	H24	継続	B	お互いの立場を尊重しながら、自立して事業を進めることができた。
78	史跡・名勝をめぐるウェルカムサービス～知って奈良とびらガイド～	観光振興課	H25	継続	B	転入者に奈良の魅力を伝えるという事業を、協働して実施することができた。
79	奈良市きたまち転写門観光案内所運営事業	奈良町にぎわい課	H25	継続	D	運営及び事業の実施に際し、委託先に市と協議をしようとする姿勢が見られず、今年度は共同開催によるイベントが実施できなかった。
80	奈良町南観光案内所運営管理	奈良町にぎわい課	H27	継続	B	協働相手の主体的な企画運営により、効果的な事業を行うことができた。
81	奈良町にぎわいの家運営管理	奈良町にぎわい課	H27	継続	B	指定管理者と連絡調整を行いながら、積極的なPR活動と多様な事業の実施により、目標値には届かなかったが、一定の成果は得られた。
82	奈良市グリーンホールの運営	観光戦略課	H16	継続	B	ホール運営や自主事業に関して、協議の余地が残されていたように感じたため。
83	奈良工芸フェスティバル	商工労政課	H1	継続	A	企画内容、実施方法等については実行委員会が主体で行っており、自主的な活動がなされている。行政は広報面などをフォローする形で携わっている。
84	開かれた市政	秘書課	H21	継続	C	協働の形態が情報提供のため、市民からの反応がないと評価が難しい。
85	まちかどトーク	広報広聴課	H18	継続	A	実施後のアンケートでは「参考になった」との意見が大多数を占めており、市政等の周知に大いに役立ったと考えられるため。
86	「奈良しみんだより」の英訳	広報広聴課	-	継続	A	評価項目について、事業の目的を達成することができているため。
87	パブリックコメント	広報広聴課	H17	継続	A	市の政策の基本的な計画づくり等について、市民の声を聴くことができた。
88	まちづくり振興事業「月ヶ瀬地域振興協議会」	月ヶ瀬行政センター地域振興課	H17	継続	B	目的を共有し地域振興に係る事業の実施を行ってきた。役割の明確化や自主性・自立化についての更に協議を深めていかなければならない。
89	都祁まちづくり協議会事業	都祁行政センター地域振興課	H17	継続	B	互いの特性を最大限に発揮できるよう、それぞれの役割について協議をしながら、都祁地域の活性化につなげることができた。
90	地域ミーティング	地域活動推進課	H25	継続	B	地域課題について、地域、行政の双方で認識を共有し、課題解決に向けて協働して取り組んでいくことを確認した。
91	HUG ² (はぐはぐ)祭り	協働推進課	H26	継続	A	企画から当日の運営まで、市民公益活動団体と職員がお互いに協力し合いながら祭りを開催することができた。
92	協働のための研修	協働推進課	H20	継続	B	市職員と市民が共に研修を受講することで、それぞれの協働に対する意識の向上が図れた。
93	自治連合会等活動推進	地域活動推進課 他	-	継続	B	地域コミュニティの再生に向けて新たな事業を展開し、少しずつ成果が表れている。
94	政策提案コンテスト	総合政策課	H24	廃止	C	「なら教育の日」記念集会において開催したため、前年度と比べてコンテストへの来場者数は増加した。高校生にも積極的にプログラムに参加してもらったが、参加校が固定化してしており、市政参画意識を醸成する効果は限定的であった。
95	租税教室の開催(講師の派遣)	市民税課	H20	継続	A	お互いに目的を共有し、役割を分担しながら事業の実施を行えたと考える。
96	奈良市中心のふるさと応援券附促進事業	納税課	H20	継続	A	前年度に比べて寄附件数及び寄附額が急増した

継続	91
拡大	1
縮小	2
廃止	1
完了	1
合計	96

A	33
B	51
C	8
D	2
E	0
空白	2
合計	96